

屋内機械式					
ごみ置き場	上段	1	2	3	4
	中段	5	6		7
	下段	8	9	10	11

屋外機械式			
12	15	18	21
13	16	19	22
14	17	20	23

※No.20 No.22 No.23は
入口よりバックで進み、入庫

出入口

前面道路

マンション建物部分

取扱説明書

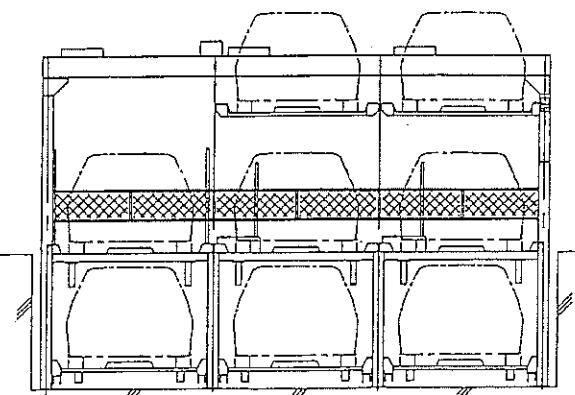
三段式機械駐車装置・昇降横行ピット式

ナブコパーク 3 P III

(ハイルーフ仕様車含む)

建設大臣認定番号 1136号

ペターリピング認定番号 PA0693号



この取扱説明書の中で  と表記されている事項は、安全上特に重要な注意事項です。

取扱説明書の指示を必ずお守りください

また、取扱説明書は必ずわかりやすい所に大切に保管してください。

本社

神戸市中央区磯上通2-2-21(三宮グランドビル)

〒651 TEL.(078)251-8072

東京支社

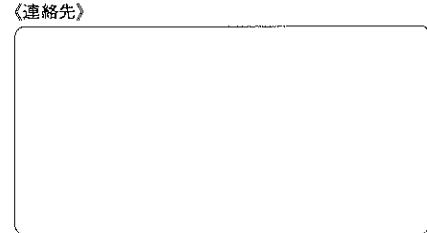
東京都港区海岸1-9-18(国際浜松町ビル)

〒105 TEL.(03)5470-2415

●お届けいたします緊急は、改札などの



●お届けいたします製品は、改良などのためカタログと相違する場合もありますので、了承ください。



はじめに

このたびは、ナブコの機械式駐車装置・ナブコパークをご採用いただき、まことにありがとうございます。

ナブコパークは「人の安全と快適」を基本理念として設計・製作されていますが、操作方法を誤ると思わぬトラブルを招くおそれがございます。この設備を「安全」かつ「快適」にご利用いただくために、ご使用に先だって必ずこの取扱説明書をよく読んでいただき、装置を充分理解されたうえで、いつまでも重宝にご愛用いただけるようお願いいたします。

また、ご使用になったうえで、ご不明な点があったり、もし装置に異常がありましたら、装置に表示してある《連絡先》（またはこの巻末に掲げた「ナブコ全国ネットワーク」）へ早めにご連絡ください。

目 次

安全にご使用していただくためのご注意 3~12

1. 車のサイズと重量にご注意 3~4

2. 車の出し入れ時のお願い 4~6

3. こんなとき操作はできません 7

4. 操作時のお願い 7~9

5. 非常事態に備えての注意 9~10

6. その他の注意 11~12

装置の構造 13~14

装置の標準仕様 15

操作の方法 16~19

トラブル時の対応 20

保守点検について 21~22

ナブコ全国ネットワーク（緊急時の連絡先）

☆お願い（ご注意）

この装置を他に転売・移設される時は、取扱説明書と注意銘板を装置とともに新しい使用者に渡るようにしてください。

また、新しい使用者は当社に最新の安全上の情報を要求してください。
(この要求がない時、使用者が最新の安全上の注意に反する操作をしても当社は責任を負いかねます。)

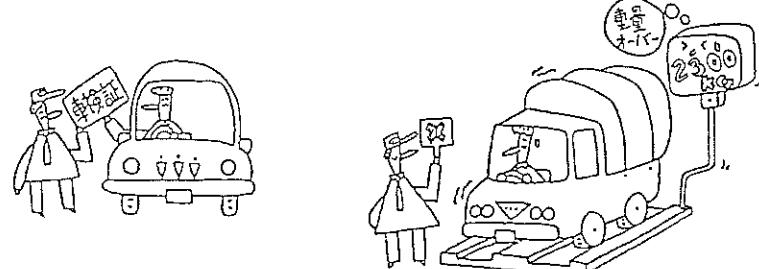
安全にご使用していただきためのご注意

— 安全に、安心してお使い頂くための注意事項です。 —

ご使用にあたって、次のことをお守りください。

⚠ 1. 車のサイズと重量にご注意！ — 入庫できる車のサイズと重量 —

個々の装置には、駐車できる車のサイズと重量に固有の制限があります。これらが装置の許容範囲内であることを必ず確認してください。車の大きさは車検証を参考に、装置の操作銘板に表示されている寸法と重量の制限内であることを確認してください。改造車（特に最低地上高さを低くしたり、バンパーを低くする改造など）は、ご使用になれません。



〈 注意のポイント 〉

重 量； 駐車するときの全重量です。

実際には車検証の重量より重くなっていますので、ご注意ください。

（表示ギリギリの時は重い荷物を降ろしてください）

全 長； 装置やピットへの接触に注意。

（車止めとの関係で、前後にはみ出さないように）

全 幅； 支柱や昇降チェーンへの接触に注意

（ドアミラーは折りたたんでください）

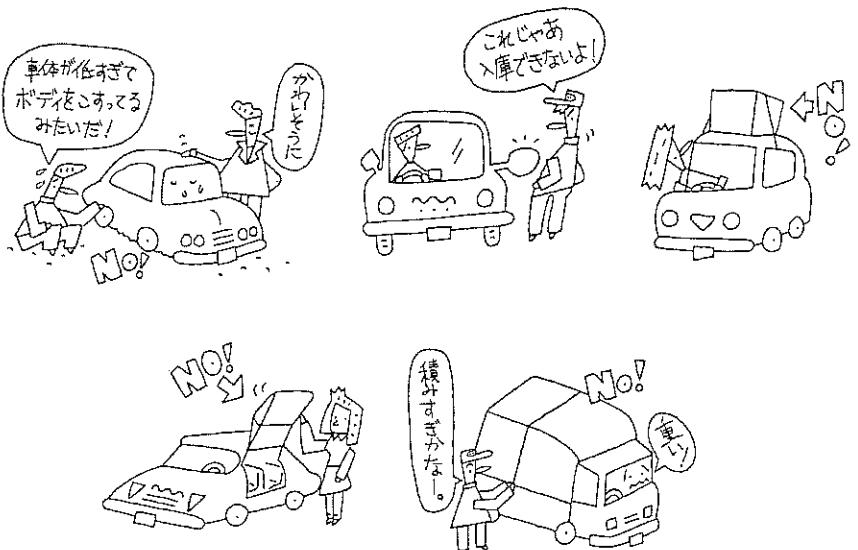
全 高； アンテナやルーフキャリアの高さに注意

（アンテナは収納してください）

安全にご使用していただきためのご注意

外観によるチェック

車両本体の仕様収納制限内であっても、付属品の一部やアタッチメントがパレットからみ出る車や、下記に該当するような車は収納できません。入庫するときに支障がなくとも、パレット昇降中に車や駐車装置を破損するおそれがありますので絶対に入庫しないでください。



2. 車の出し入れ時のご注意！

— つぎのことについて気をつけてください。 —

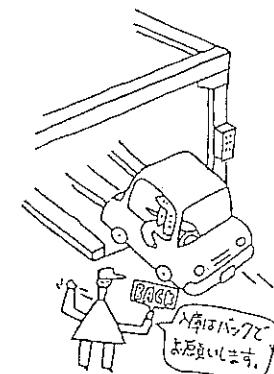
⚠ ①. 入庫はノーベックで！

必ずバック（後進）で入庫してください。

前進入庫は禁止です。

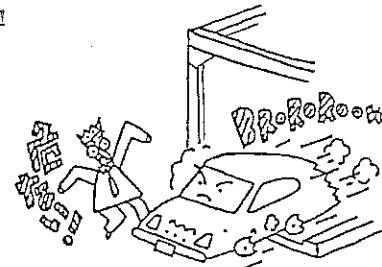
前進で入庫すると、車の後部が

パレットよりみ出します。

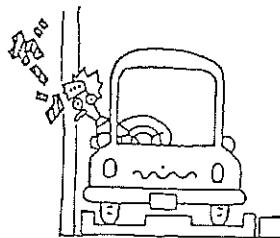


安全にご使用していただくためのご注意

⚠ ②. 急発進・急停車は危険です！



⚠ ③. 頭や手を出さないでください！
支柱や昇降チェーンへの接触に注意して下さい。



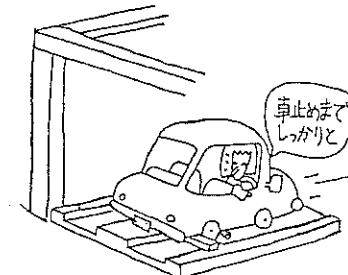
④. 乗入れ面の段差に注意してください！
パレットの乗入れ面と地面との段差が大き過ぎる（20mm以上）ときは、調整・点検が必要です。

⑤. ドアミラーは折りたたんでください！
入出庫の前に、ドアミラーを必ず折りたたんでください。
折りたたんだ後、入出庫運転は特に慎重に。
折りたためない車では、ミラーが支柱に当たらないよう充分に注意しながら入出庫してください。

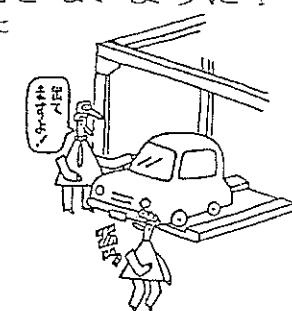
安全にご使用していただくためのご注意

⑥. 車止めに当てて止めてください！

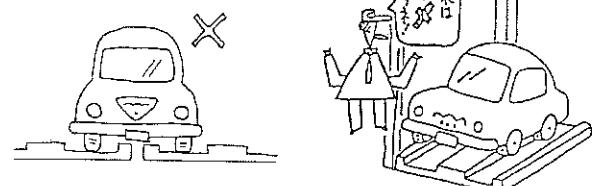
後タイヤを車止めの定位置に当てて止めてください。



⑦. 車の前後ガバはみ出さないように！
車体は前後左右ともパレットの中にあることを確認してください。



⑧. パレットの中央に駐車してください！
斜めになったり片側に寄りすぎたら、入れ直しをしてください。
タイヤのはみ出し・乗り上げは禁止です。



⑨. 駐車ブレーキを忘れずに！
そして、ギヤシフトはバック位置（オートマチック車ではパーキング位置）にしてエンジンキーを抜いて下さい。
また、降車後ドアは完全に閉じて下さい。

安全にご使用していただきためのご注意

3. こんなときは装置の操作をしないでください！

—— 入出庫と操作時の禁止事項 ——

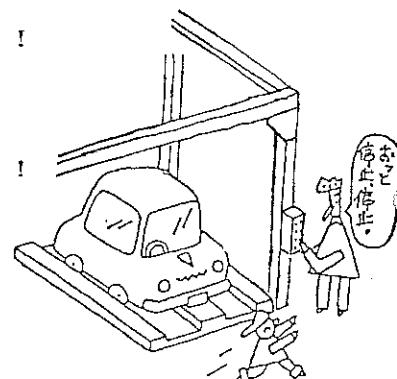
—— つぎの状態での入出庫と操作は厳禁です。 —

①. 人が車に乗ったまま！

空車であることを確認してから
操作してください。

②. 間近に入りかいる場合！

装置の中やすぐそばに人やペット
などいる時は、操作禁止です。



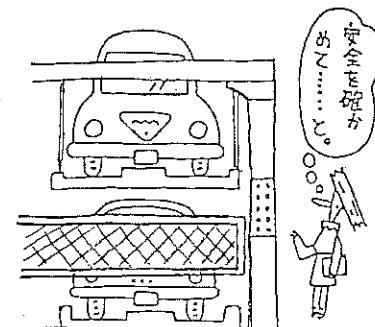
4. 操作時のお願い！ —— 装置の操作と運転時の注意 ——

①. 操作は運転者自身の手で！

操作に慣れた運転者が自分で操作してください。

②. 操作は装置から離れて！

動くパレットから離れた位置で、
自身と周りの安全に充分気を使っ
てください。
装置の近くで操作されると、衣服を
巻き込んだりパレットに当たったり、
足をはさんだりして大変危険です。



安全にご使用していただきためのご注意

③. 異常時は直ちに停止を！

起動時または運転中に

ショックはないか？ 動きはスムーズか？ 異常音や振動はないか？

非常停止押ボタンスイッチを押せば、装置はすぐに止まるか？

などに注意して、もし異常があれば、すぐに操作を中止し、管理者
または連絡先に連絡してください。

④. 装置内への出入りは運転者だけです！

装置内には運転者以外は入らないで
ください。

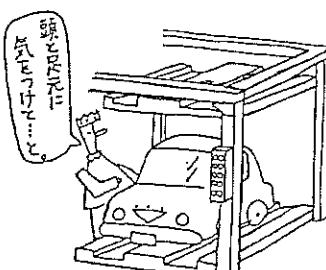
乗客や荷物の扱いは必ず装置の外で、
そして、操作は運転者自身の手で。
特にお年寄りや小さなお子さんを入
れないように。



⑤. 足もとと頭上には充分注意を！

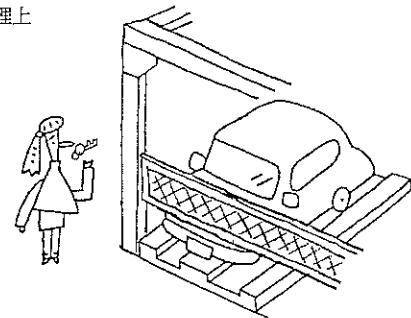
装置内では車の出入りに気を

つけてください。



安全にご使用していただくためのご注意

⑥. 操作終了後は忘れずに操作盤から電源キーを抜いてください！
いたずら防止や、安全管理上必ず守ってください。



5. 非常事態に備えて！——火災や集中豪雨時の対応——

万一の火災発生時など、車の保護と安全管理の面から、次のことをお守りください。



①. 火気厳禁！

装置内とその周辺は火気厳禁です。
車には多量の燃料があり、火災を招くおそれがあります。



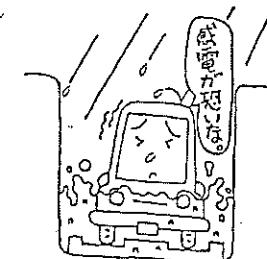
②. 火災発生に備えて！

消火装置の場所とその使い方、装置の消火口を用いた消火方法など、
万一の事態を考えた対策にはぬかりなく。
(もし出火時は、たとえすぐ消し止められた場合でもそのまま使わないで、必ず管理者と連絡してください)

安全にご使用していただくためのご注意

③. ピット内への浸水に注意！

異常な降雨やその事態が予想されるときは、ピット内の車を早めに地上へ退避させてください。
万一、ピットが浸水になった時には、装置を操作したり、ピット内に入ったりしないでください。
(漏電のおそれがあります)
また、水が引きましてもそのまま使用しないで、必ず管理者と連絡先へ連絡してください。



④. 地震が発生したとき！

操作中に、地震が発生したときは、
直ちに操作を中止し、退避してください。
地震後は、そのまま使用せず、管理者または連絡先に連絡してください。



⑤. 異常気象の場合は！

台風などの強風や、吹雪のとき、または落雷が起きそうなときは「電源キーON/OFF」を「切」にして駐車装置を使用しないでください。
漏電のおそれがありますので、元電源も切ってください。

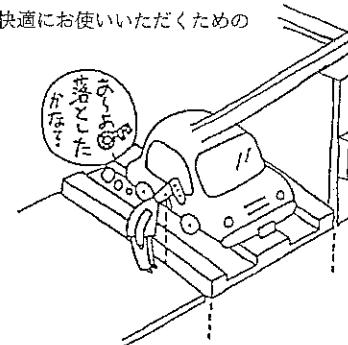
安全にご使用していただきための注意

6. その他の注意！ つぎのこともお守りください。

これまでに述べたことに加え、装置を安全に快適にお使いいただくための注意と要望事項です。

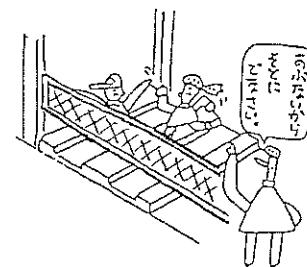


- ①. ピット内への立入りは絶対禁止です！
ピット内に何か落としたような場合は、管理者に連絡し、処理してもらってください。
重大事故につながるおそれがあります。

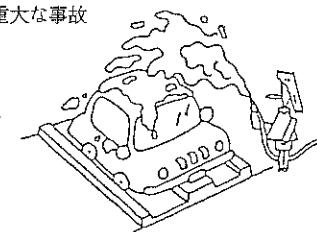


- ②. 使用者ご自身による装置の点検や修理・改造は危険ですので絶対にしないでください！
必ず専門業者にお任せください。

- ③. 装置内では、お子さんを遊ばさないでください。
万一の場合、重大事故につながるおそれがあります。



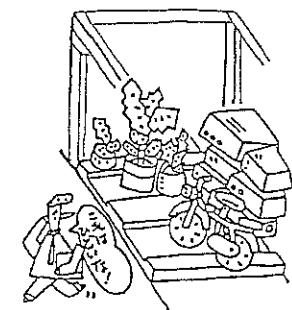
- ④. 装置内での洗車や車中での休憩など、駐車の目的以外の利用はしないでください。
また、装置内での車の整備などは、重大な事故につながるおそれがあります。



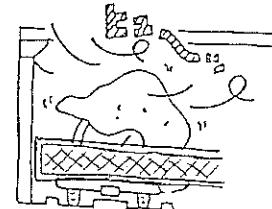
安全にご使用していただきための注意

- ⑤. 乗用車以外のオートバイ・自転車等の駐車は、転倒するなどの危険性がありますので、お止めください。

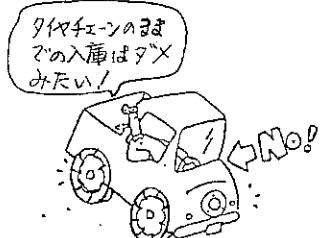
- ⑥. 駐車以外の目的（倉庫や物置代わりや植木置場など）のための使用は、転落したり装置に挟み込むなどの危険性がありますので、お止めください。



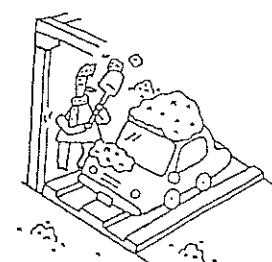
- ⑦. 車のシートカバーは、風などで外れて装置に接触し、思わぬ事故を招くおそれがありますので使用しないでください。



- ⑧. タイヤチェーンを装着したままの入出庫は、パレットの傷や錆、または騒音の原因となりますのでお止めください。

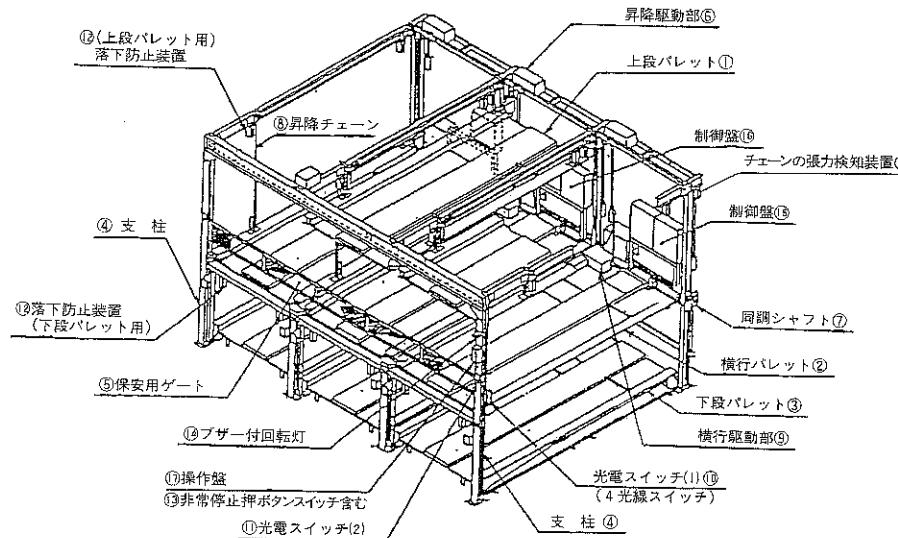


- ⑩. 雪や落葉、ビニール袋などはスリップや装置の故障の原因となりますので、ピット内に落とさないように取り除いてください。
とりわけ積雪時は、除雪を心がけてください。



装置の構造

●下図は、8台収容分です。装置によってはこの図と異なる場合があります。



動作のあらまし

車を入庫させる上段・横行・下段の3つのパレット①、②、③、と、それを支える支柱④及び保安用ゲート⑤から成り立っており、パレットはチェーンにより昇降及び横行させます。

昇降駆動部⑥は梁に取付けられており、昇降駆動用モータによりチェーンを介して同調シャフト⑦を回転させ、左右2本の昇降チェーン⑧を上下動することにより、パレットを昇降させます。

横行駆動部⑨は、横行パレット後部に取付けられた横行駆動用モータにより、チェーンを介してドライブシャフトを回転させ、左右に移動させる構造となっています。

保安用ゲートは、機械装置最前列の全幅に設け、人及び車の装置内への進入を防止しています。

装置の構造

(装置各部の名称とはたらき)

- ①. 上段パレット：車の上段収納台で、通常は上限位置にあります。
- ②. 横行パレット：車の中段収納台で、通常は地上位置にあります。
- ③. 下段パレット：車の下段収納台で、通常は地下のピット内にあります。
- ④. 支柱：装置全体を支持する柱で、下面是ピットの床面に固定されています。
- ⑤. 保安用ゲート：通常時および装置作動時に、ピット内及び装置内への人および車の進入を防止するために設けています。
- ⑥. 昇降駆動部：上段及び下段用があり、それぞれのパレットを昇降させるためのブレーキ及び減速機付モータが内蔵されています。
- ⑦. 同調シャフト：駆動用モータの回転力は、駆動チェーンにてこの同調シャフトに伝達されます。
- ⑧. 昇降チェーン：同調シャフトの左右各2列に設けた鎖車と噛み合って、パレットを昇降させるチェーンです。
- ⑨. 横行駆動部：横行パレット後部に取付けられ、パレットを左右に移動させるためのブレーキ及び減速機付モータが内蔵されています。
- ⑩. 光電スイッチ(1)：入庫する車が完全に車止めまで進入したことを、光電スイッチの光軸にて装置自身が確認します。（車長検用）
- ⑪. 光電スイッチ(2)：ゲート前面の光電スイッチの光軸を遮断すると、装置は停止します。（保安ゲート用）
- ⑫. 落下防止装置：上・下段パレットが上限位置にあるときに、万一チェーンが切れるといった事態が生じた場合でも、パレットが落下しないための危険防止装置です。（上段及び下段パレットの前後・左右の4ヶ所を受け止めるように配置されています）
- ⑬. 非常停止：装置作動中に異常事態が発生した場合は、操作盤表面の非常停止押ボタン押ボタンスイッチを押すと、装置はその場で停止します。
- ⑭. ブザー付：装置作動中は、ブザーの断続音と回転灯にて作動中であることを、周囲に知らせます。
- ⑮. チェーンの張力：上・下段パレットを吊り上げているチェーンの張力が低下すると、リミットスイッチがこれを検知し、装置を停止させます。
- ⑯. 制御盤：一次電源を受け装置を駆動・制御するための電気機器や端子台を収納した箱です。
- ⑰. 操作盤：パレットを昇降・横行操作させるための箱です。（支柱前面に設置されております）

このほかに、建築側の施工区分として装置を収納するピット、ならびに設置条件によって決まるピット内の排水ポンプや装置まわりの防護柵等で全体が構成されます。

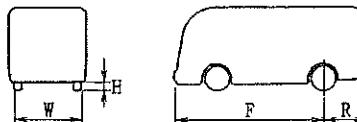
装置の標準仕様

形 式	M	ML	ML1	L	LL	LH					
建設大臣認定番号	1136号										
バターピング認定番号	PA0693号										
対象車種	最大車両長さ	4700mm	4900mm	5050mm	5300mm	5650mm					
	最大車両幅	1800mm	1850mm	1950mm	2050mm	1850mm					
	最大車両高さ	1550mm			2000mm						
	最大車両重量	1700kg	1800kg	2200kg							
電 源	1次電源: 3相, AC 200/220V, 50/60Hz										
	2.5KVA/基		3KVA/基	4KVA/基							
操 作 方 式	押ボタンスイッチ方式										
乗 入 方 式	後進入庫										
昇降行程	上段	1980mm			2130mm						
	下段	1650mm			2100mm						
塗 装 色	日本塗料工業会 色No. 22-60D マンセル 2.5Y 6/2										

▲上記装置に収容可能な自動車の各部分の寸法を下表に示します。



M~LL型



LH (ハイルーフ仕様) 型

形 式	M	ML	ML1	L	LL	LH
タイヤ外寸法 (W)	1750mm 以下	1790mm 以下	1850mm 以下	1950mm 以下	1850mm 以下	
前オーバーハング + ホイルベース (F)	3650mm 以下	3730mm 以下	3810mm 以下	4050mm 以下	4150mm 以下	3810mm 以下
後オーバーハング (R)	1170mm 以下	1240mm 以下	1270mm 以下	1300mm 以下	1500mm 以下	1270mm 以下
最低地上高さ (H)	120mm 以上					

※H寸法は装置前部の車路面が平らで段差がない状態とした場合。

※特殊仕様の場合には、別紙の「取扱説明書」も併せてご利用ください。

操作の方法

ナゴパーク 3PⅢ

操作方法

お使いになるこの装置の操作方法は、次の操作手順に従ってください。
次に述べることは、基本的な操作と注意事項です。

※ 特殊仕様の場合には、別紙の「取扱説明書」も併せてご利用ください。

操作前の確認事項

—— 必ず次のことをご確認ください。 ——

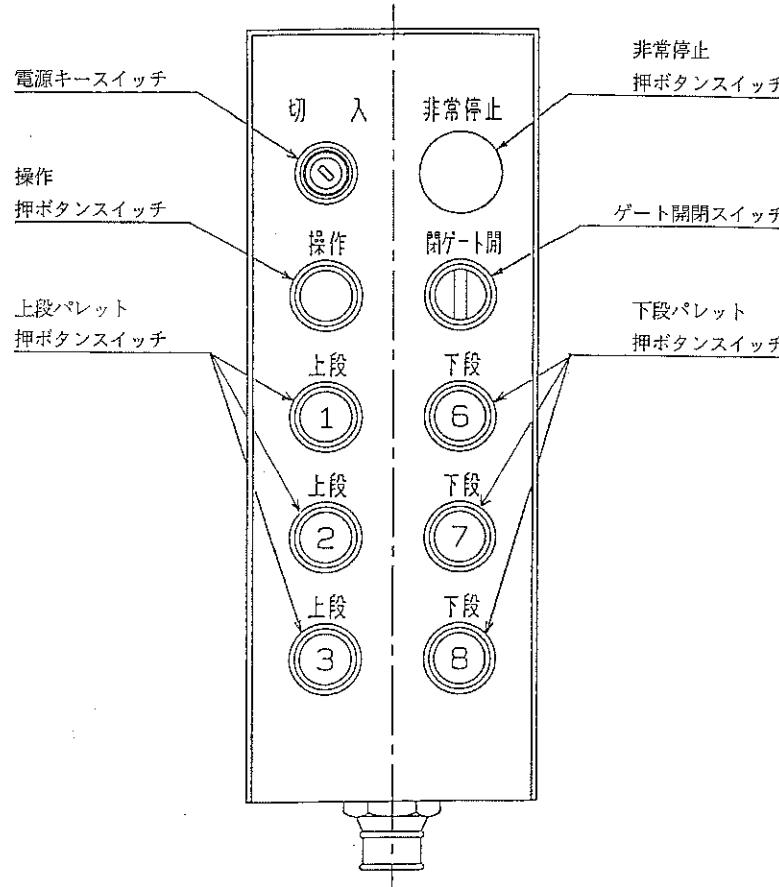
★装置の中や、すぐそばに人やペットがいる時は、操作しないでください。
ピット内や装置内および車の中に、人やペットがいないことを確認のうえで操作してください。

操作時の注意事項

- ①. パレット・保安用ゲート・チェーン等動く部分から離れた位置で、周囲の安全を充分に注意して操作してください。
- ②. 運転中にショック・異常音・異常な振動等、通常と異なる事態がおきましたら、操作盤の「非常停止押ボタンスイッチ」を押して、装置を停止させてください。
その後、管理者または連絡先へ連絡して、指示があるまで絶対に操作しないでください。
- ③. 操作が終わったら、必ず「電源キー」を抜いてください。
また、保安用ゲートが閉じたことを確認してください。
(保安用ゲートが閉じたことで、装置の動作は終了となります)
- ④. 装置運転中は、「電源キー」を「切」の位置にしないでください。

操作の方法

操作盤の名称



操作の方法

操作手順

1. 中段パレット（横行パレット）へ入出庫を行う場合

順序	操作手順	作動状態
1	電源キースイッチに電源キーを差し込んで「入」側にしてください。	ブザー付回転灯が点灯します。
2	操作押ボタンスイッチを押してください。	押ボタンランプ（白色）が点灯します。
3	ゲート開閉スイッチを（開側）にし上昇するまで回し続けてください。	保安用ゲートが開き（上昇）ます。
4	車を入出庫します。	
5	電源キーを「切」側にした後キーを抜いてください。	保安用ゲートが閉じ（下降）ます。

2. 上段パレットへ入出庫を行う場合

順序	操作手順	作動状態
1	電源キースイッチに電源キーを差し込んで「入」側にしてください。	ブザー付回転灯が点灯します。
2	操作押ボタンスイッチを押してください。	押ボタンランプ（白色）が点灯します。
3	目的の上段パレット押ボタンスイッチを押してください。	1) 押ボタンランプ（赤色）が点灯します。 2) ブザーが断続的に鳴り、何れかの上段または下段パレットが定位位置に復帰します。 3) 横行パレットが移動します。 4) 目的の上段パレットが着床します。 5) 保安用ゲートが開きます。
4	車を入出庫します。	
5	電源キーを「切」側にした後キーを抜いてください。	保安用ゲートが閉じて、ブザー付回転灯が消灯します。

注意事項：(1) 電源キースイッチを「入」側にする前には、装置内を目視し、安全を十分に確認してください。
 (2) 電源キーを抜いた後、保安用ゲートが自動的に閉じたことを確認してください。

操作手順

3. 下段パレットへ入出庫を行う場合

順序	操作手順	作動状態
1	電源キースイッチに電源キーを差し込んで「入」側にしてください。	ブザー付回転灯が点灯します。
2	操作押ボタンスイッチを押してください。	押ボタンランプ（白色）が点灯します。
3	目的の下段パレット押ボタンスイッチを押してください。	1) 押ボタンランプ（赤色）が点灯します。 2) ブザーが断続的に鳴り、何れかの上段または下段パレットが定位置に復帰します。 3) 横行パレットが移動します。 4) 目的の下段パレットが上昇し地上レベルに停止します。 5) 保安用ゲートが開きます。
4	車を入出庫します。	
5	電源キーを「切」側にした後キーを抜いてください。	保安用ゲートが閉じて、ブザー付回転灯が消灯します。

4. 非常停止させる場合

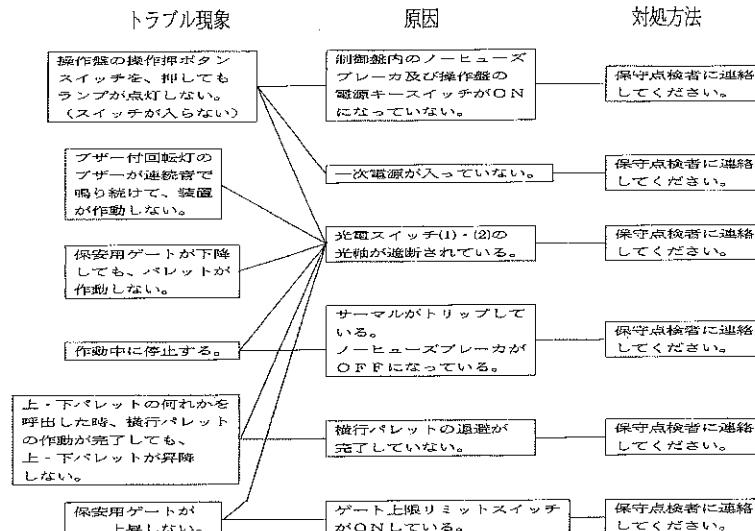
	操作手順	作動状態
	非常停止押ボタンスイッチを押してください。	1) 装置の作動は、その場で停止します。 2) 操作ランプ（白色）は消灯します。

5. 非常停止後、再び装置を作動させる場合

装置を停止させた場合は、その後管理者または連絡先に連絡し、指示があるまで絶対に作動させないでください。

トラブル時の対応

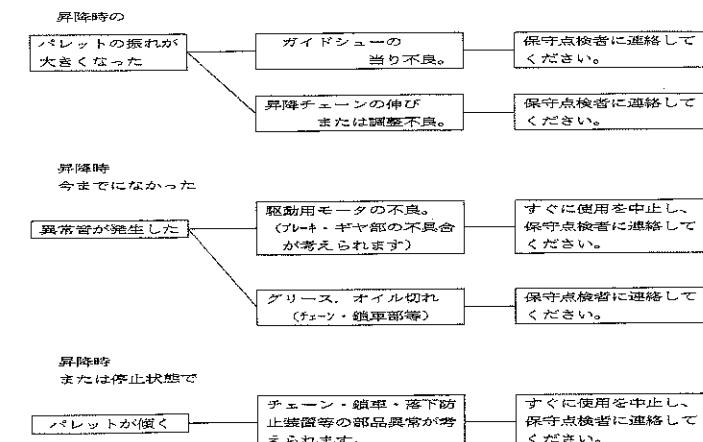
この装置を操作する時に発生することが考えられる不具合とその対策として、ここでは標準仕様の装置における主要なトラブルの現象とその原因・その時の対処方法を示します。



トラブル現象

原 因

対処方法



保守点検について

《保守点検》

この装置は日常点検が必要です。以下の点検を行ってご使用ください。

★車の乗入れ部の清掃 —— とりわけ落葉時期や暴風雨の後などピットにゴミが進入しないように取り除いてください。
(ただし、ピット内への立入りは禁止です)

★積雪時の除雪 —— 装置に過剰な重みがかかったり、スリップ等動作不良の原因になります。

★どんな時でも「非常停止」が作動しますか。

★パレット（車の収納台）の上に、車以外のものが置かれていませんか。

★パレットがスムーズに上昇・下降または横行動作していますか。

★装置作動中今までと違った、異常音がでていませんか。

★光電スイッチの前面は、汚れたり水滴が付着していませんか。

不作動や誤動作の原因となりますので、布等で清掃してください。

★キャブタイヤケーブル（電線）が、装置の稼働部に接触していませんか。

★装置の部分的な錆・傷や摩耗箇所の塗装の補修をしてください。

★各部の締結（ボルト・ナット）材に、弛みはありませんか。

★電装品の摩耗や損傷の状態を確認してください。

★各リミットスイッチや操作盤面のスイッチは確実に作動していますか。

★チェーンの弛みや異常音はありませんか。

★チェーンおよび回転部分への給油をしてください。

★落下防止装置は確実に作動していますか。

「★」印は、ご自分でできる範囲の点検項目ですので、実施していただくようお願いします。

「☆」印は、危険が伴いますので専門の技術者にお任せください。

《保守点検のお勧め》

安全に、そしていつまでも快適にご使用いただくために最も確実な方法として、必ず保守契約をしていただくようお薦めしています。

保守契約の概要は次の通りです。

- (1). 後述するナブコ各販売会社と、保守契約をしていただきます。
- (2). 定期的な装置の保守点検等を、各販売会社またはその指定会社が責任をもって行ないます。
- (3). 保守点検の項目は契約の内容により異なります。
ただし、◎装置が設置されている地域や環境の特殊性による特別なもの
◎その他天災や災害等に起因する保守点検

については、契約に含まず別途有償となります。

これらの保守契約ならびに保守点検項目等の詳細については、各販売会社窓口にお問い合わせください。

品質保証

1. 品質保証

納入に際して、別途提示致しました通り、この装置にかかる品質保証は次の通りとなります。

《保証期間》

納入した装置の保証期間は、竣工お引き渡し後1ヶ年です。

また装置をお引き渡しした後、ご注文主の都合により放置あるいは無点検の状態であれば、未使用であっても有償で再点検を行うことを条件とさせて頂きます。

《お引き渡し後のサービス点検》

装置はお引き渡し後、3ヶ月間の適当な時期に一度サービス点検を無償で実施します。

(この場合の点検項目等は管理者側と打合せのうえ行います。)

《保証範囲》

保証期間中に納入者側の責任によって故障や不具合を生じた場合は、その機器の故障部分の交換または修理を納入者側の責任で行います。

ただし、次の項目に該当するような装置の管理に係わる故障等は、この保証の対象範囲から除外させて頂きます。

- (1). 利用者側の判断により、不具合のまま使用され、これに起因する故障等の場合。
- (2). 利用者側の不適当な使用や取扱いによる場合。
(第三者の不当行為による破損等も含みます。)
- (3). 故障の原因が納入品以外の事由による場合。
- (4). 当社が行った以外の改造や修理、または当社が了承し確認していない改造や修理に起因する場合。
- (5). その他天災や災害に起因し、納入者側の責任でない場合。
- (6). 消耗や劣化に起因する部品費または交換費用（ゴム・プラスチック・シール剤および一部の電装品・塗装など）

なお、ここでいう保証とは納入品の保証を意味するもので、納入品の故障によって誘発される損害は、ご容赦願います。

また、ここでいう納入者とは、ナブコ各販売会社と機ナブコを指しますが、窓口業務はナブコ各販売会社が担当します。

ナブコ全国ネットワーク

3PF (屋外)
操作中 - 4015

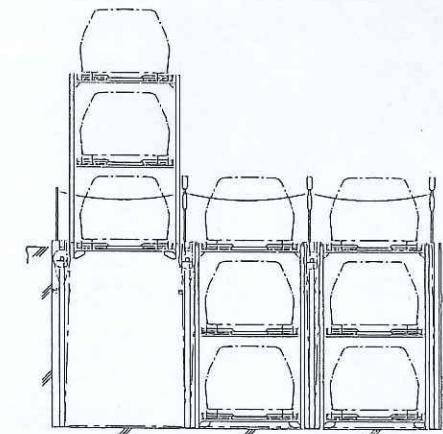
取扱説明書

三段式機械駐車装置・昇降ピット式

ナブコパーク 3 P F

建設大臣認定番号 1178号

ベターリビング認定番号 PA0693号



この取扱説明書の中で  と表記されている事項は、安全上特に重要な注意事項です。

取扱説明書の指示を必ずお守りください。

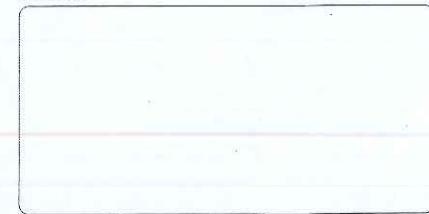
また、取扱説明書は必ずわかりやすい所に保管してください。

—SAFE-TECH & AMENI-TECH—
株式会社 ナブコ
建築事業部

本 社 神戸市中央区磯上通2丁目2番21号(三宮グランドビル
〒651 TEL. (078)251-8072

東京支社 東京都港区海岸1丁目9番18号(国際浜松町ビル)
〒105 TEL. (03)5470-2415

《連絡先》



—SAFE-TECH & AMENI-TECH—
株式会社ナブニ

神戸市中央区磯上通2丁目2番21号(三宮グランドビル)
〒651 TEL. (078) 251-8072

はじめに

このたびは、ナブコの機械式駐車装置・ナブコパークをご採用いただき、まことにありがとうございます。

ナブコパークは「人の安全と快適」を基本理念として設計・製作されていますが、操作方法を誤ると思わぬトラブルを招くおそれがございます。この設備を「安全」かつ「快適」にご利用いただくために、ご使用に先だって必ずこの取扱説明書をよく読んでいただき、装置を充分理解されたうえで、いつまでも重宝にご愛用いただけるようお願いいたします。

また、ご使用になったうえで、ご不明な点があったり、もし装置に異常がありましたら、装置に表示してある《連絡先》（またはこの巻末に掲げた「ナブコ全国ネットワーク」）へ早めにご連絡ください。

☆お願い（ご注意）

この装置を他に転売・移設される時は、取扱説明書と注意銘板を装置とともに

新しい使用者に渡るようにしてください。

また、新しい使用者は当社に最新の安全上の情報を要求してください。

（要求がない場合は、使用者が最新の安全・注意に反する操作をしても、当社は

責任を負いかねます。）

目次

安全にご使用していただくためのご注意 3~12

1. 車のサイズと重量にご注意 3~4
2. 車の出し入れ時のお願い 4~6
3. こんなとき操作できません 6~7
4. 操作時のお願い 7~9
5. 非常事態に備えての注意 9~10
6. その他の注意 11~12

装置の構造 13~14

装置の標準仕様 15

操作の方法 16~19

トラブル時の対応 20

保守点検について 21~22

ナブコ全国ネットワーク（緊急時の連絡先）

安全にご使用いただきためのご注意

→ 安全に、安心してお使い頂くための注意事項です。→

ご使用にあたって、次のことをお守りください。

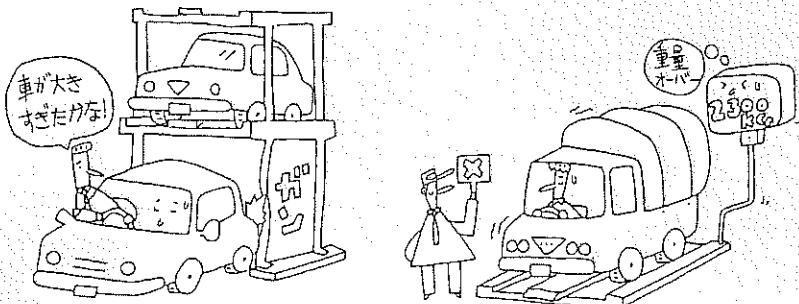
① 車のサイズと重量にご注意！ —— 入庫できる車のサイズと重量 ——

個々の装置には、駐車できる車のサイズと重量に固有の制限があります。

これらが装置の許容範囲内であることを必ず確認してください。

車の大きさは車検証を参考に、装置の操作掲示板に表示されている寸法と重量の制限内であることを確認してください。

改造車（特に最低地上高さを低くしたり、バンパーを低くする改造など）は、ご使用になれません。



（注意のポイント）

重 量： 駐車するときの全重量です。

実際には車検証の重量より重くなっていますので、ご注意ください。

（表示ギリギリの時は重い荷物を降ろしてください）

全 長： 装置やピットへの接触にご注意ください。

（車止めとの関係で、前後にはみ出さないように！）

全 幅： パレット支柱への接触にご注意ください。

（ドアミラーは折りたたんでください）

全 高： アンテナやルーフキャリアの高さにご注意ください。

（アンテナは収納してください）

安全にご使用いただきためのご注意

外観によるチェック

車両本体の仕様収納制限内であっても、付属品の一部やアッタチメントがパレットからみ出する車や、下記に該当するような車は収納できません。

入庫するときに支障がなくても、パレット昇降中に車や駐車装置を破損するおそれがありますので絶対に入庫しないでください。



② 車の出し入れ時にご注意！

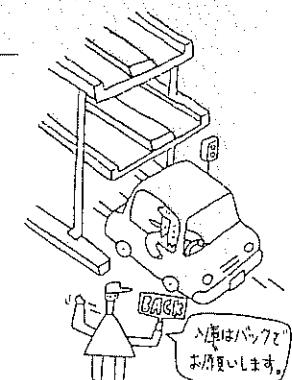
→ つぎのこと、特に気をつけてください。→

① 入庫は必ずノックで！

必ずバック（後進）で入庫してください。

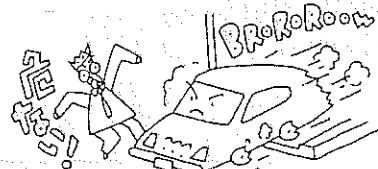
前進入庫は禁止です。

前進で入庫すると、車の後部が
パレットよりはみ出します。



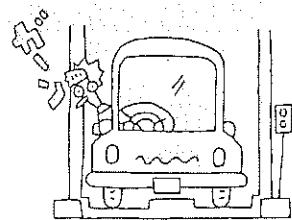
安全にご使用いただきためのご注意

②. 急発進・急停車は危険です！



③. 頭や手をださないでください！

パレット支柱や操作盤
プラケットへの接触に注意してください。



④. 乗入面の段差にご注意してください！

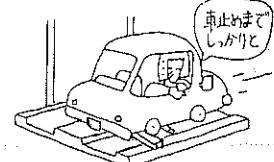
パレットの乗入面と地面との段差が大き過ぎる
(20mm以上) ときは、調査・点検が必要です。

⑤. ドアミラーは折りたたんでください！

中段・下段への入出庫の前に、ドアミラーを必ず折りたたんでください。
折りたたんだ後、入出庫運転は特に慎重に。
折りたためない車では、ミラーが支柱に当たらないよう充分に注意しながら入出庫してください。

⑥. 車止めに当てて止めてください！

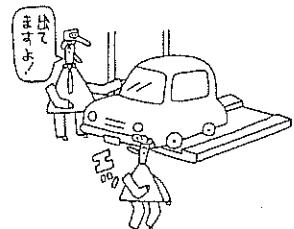
後タイヤを車止めの定位置に
当てて止めてください。



安全にご使用いただきためのご注意

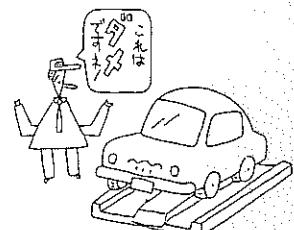
⑦. 車の前後がはみ出さないように！

車体は左右がパレットの中にあることを確認してください。



⑧. パレットの中央に駐車してください！

斜めになったり片側に寄りすぎたら、
入れ直しをしてください。
タイヤのはみ出し・乗り上げは禁止です。



⑨. 駐車ブレーキを忘れずに！

そして、ギヤシフトはバック位置（オートマチック車ではパーキング位置）にしてエンジンキーを抜いてください。
又、降車後ドアは完全に閉じてください。

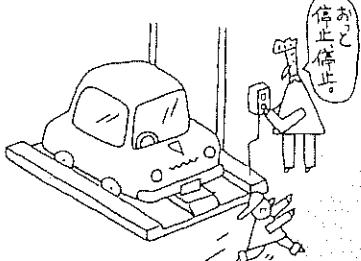
3. こんなときは装置の操作をしないでください！

— 入出庫の操作時の禁止事項 —

— つぎの状態での入出庫と操作は厳禁です。 —

①. 人が車に乗ったまま！

空車であることを確認してから操作してください。



②. 間近に人がいる場合！

装置の中やすぐそばに人やペットなどがいる時は、操作禁止です。

安全にご使用いただきためのご注意

③. 隣の装置が作動中の時！

隣接した別の装置が上昇状態のとき、または、作動中の時は
安全上操作できない構造となっています。

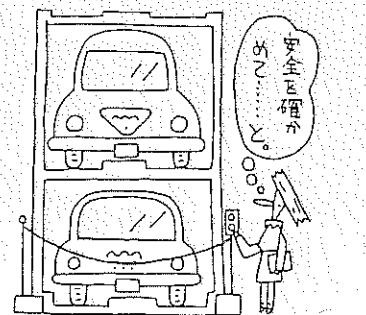
4. 操作時のお願い！ 装置の操作と運転時の注意

①. 操作は運転者自身の手で！

操作に慣れた運転者が自分で操作してください。

②. 操作時は装置から離れて！

動くパレットから離れた位置で、
自身と周りの安全に充分気を使
てください。
装置の近くで操作されると、衣服を
巻き込んだりパレットに当たったり、
足をはさんだりして大変危険です。



③. 操作時は必ず前面保安用鎖

を掛けた状態で！
操作時、誤ってピットに落ちたりしないように。
必ず前面保安用鎖を掛けた状態で、操作するように安全に充分
ご注意ください。

④. 異常時は直ちに停止を！

起動時または運転中に
ショックはないか？ 動きはスムーズか？ 異常時や振動はないか？
押ボタンスイッチから手を離したらすぐに止まるか？
などに注意して、もし異常があれば、すぐに操作を中止し、管理者
または連絡先に連絡してください。

安全にご使用いただきためのご注意

⑤. 装置内への出入りは運転者だけです！

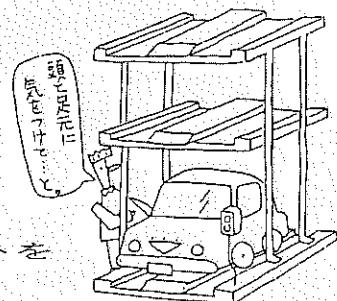
装置内には運転者以外は入らないで
ください。

乗客や荷物の扱いは必ず装置の外で、
そして、操作は運転者自身の手で、
特にお年寄りや小さなお子さんを入
れないように。



⑥. 足もと頭上には充分注意を！

装置内では車の出入りに気を
つけてください。

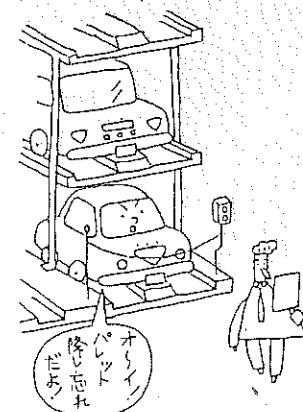


⑦. 使用後は必ずパレットを

降ろして！
中、下段に入出庫した後は必ずパレット
を下まで降ろしてください。

(パレットが上限位置のままだと安全
上インターロック機構が作動して隣
接する装置が使えなくなります。

また、この場合には「操作キー」も
抜けなくなります。)



安全にご使用いただきためのご注意

⑧. 小刻みな押ボタンスイッチのご使用はしないでください！

短時間（2秒以内）の小刻みな入り切り（インチング）は、故障の原因となりますので、絶対禁止です。

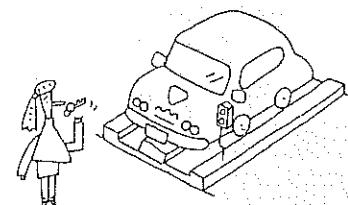


⑨. 連続運転はできません！

装置は連続運転の仕様になっていません。
2回連続して昇降操作した後は、15分ほど休止を。

⑩. 操作終了後は忘れずに操作盤から操作キーを抜いてください！

いたずら防止や、安全管理上必ず守ってください。
(操作キーが抜けない時は、パレットが下限定位まで下がっていません。
もう一度下限操作をやり直してください。)

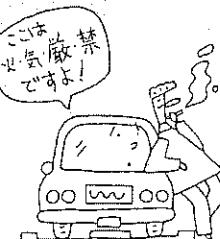


5. 非常事態に備えて！ 火災や集中豪雨時の対応

万一の火災発生時など、車の保護と安全管理の面から、次のことをお守りください。

①. 火気厳禁！

装置内とその周辺は火気厳禁です。
車には多量の燃料があり、火災を招くおそれがあります。



安全にご使用いただきためのご注意

②. 火災発生に備えて！

消防装置の場所とその使用方法、万一の事態を考えた対策にはぬかりなく。

(もしも火災時に、たとえすぐ消し止められた場合でもそのまま使わないで、必ず管理者と連絡先へ連絡してください)

③. ピット内への浸水に注意！

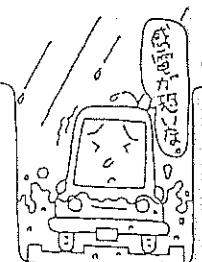
異常な降雨やその事態が予想されるときは、予め隣接インターロック解除スイッチに、解除キーを差込み隣接インターロックを解除させ、それぞれのパレットを上限位置にして、ピット内に車を残さないでください。

また、強風の場合には上段パレットに車を残さないでください。

万一、ピットが浸水になった時には、装置を操作したり、ピット内に入ったりしないでください。

(感電するおそれがあります)

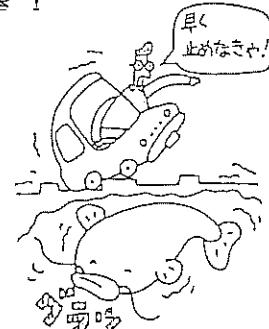
必ず管理者と連絡先へ連絡してください。



④. 地震が発生したとき！

操作中に、地震が発生したときは、直ちに操作を中止し、退避してください。

地震後は、そのまま使用せず、管理者または連絡先に連絡してください。



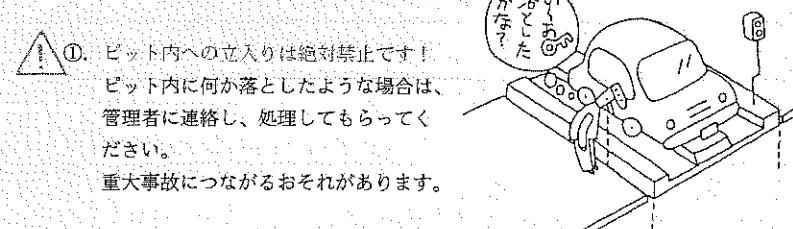
⑤. 異常気象の場合は！

台風などの強風や、吹雪のとき、または落雷が起きそうなときは「キーイッチ」を「切」にして駐車装置を使用しないでください。

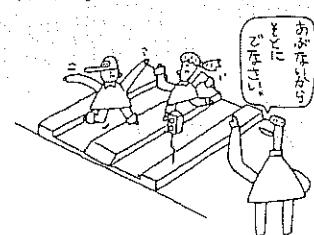
漏電のおそれがありますので、元電源も切ってください。

安全にご使用いただくためのご注意

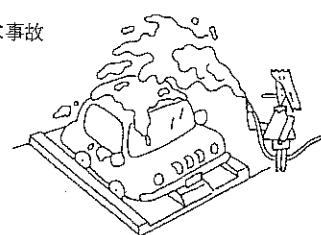
これまでに述べたことに加え、装置を安全に快適にお使いいただくための注意と要望事項です。



- ②. 使用者ご自身による装置の点検や修理・改造は危険ですので絶対にしないでください。
必ず専門業者にお任せください。

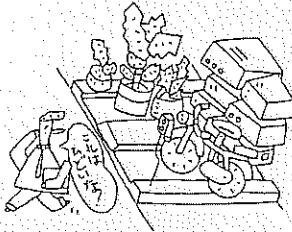


- ④. 装置内での洗車や車内での休憩など、駐車の目的以外の利用はしないでください。
また、装置内での車の整備などは、重大な事故につながるおそれがあります。

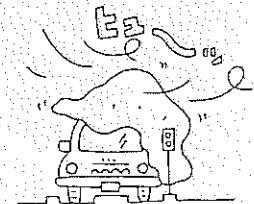


安全にご使用いただくためのご注意

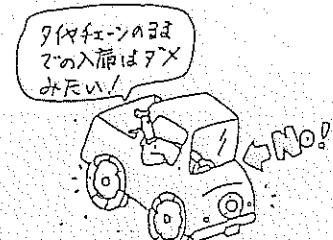
- ⑤ 乗用車以外のオートバイ・自転車等の駐車は、転倒するなどの危険性がありますので、おやめください。



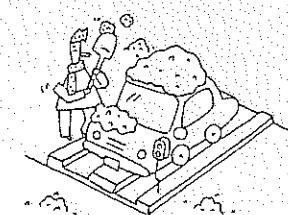
- ⑥ 駐車以外の目的（倉庫や物置代わりや植木置場など）のための使用は、転落したり設置に込み込むなどの危険性がありますので、おやめください。



- ⑦. 車のシートカバーは、風などで外れて装置に接触し、思わぬ事故を招くおそれがありますので使用しないでください。



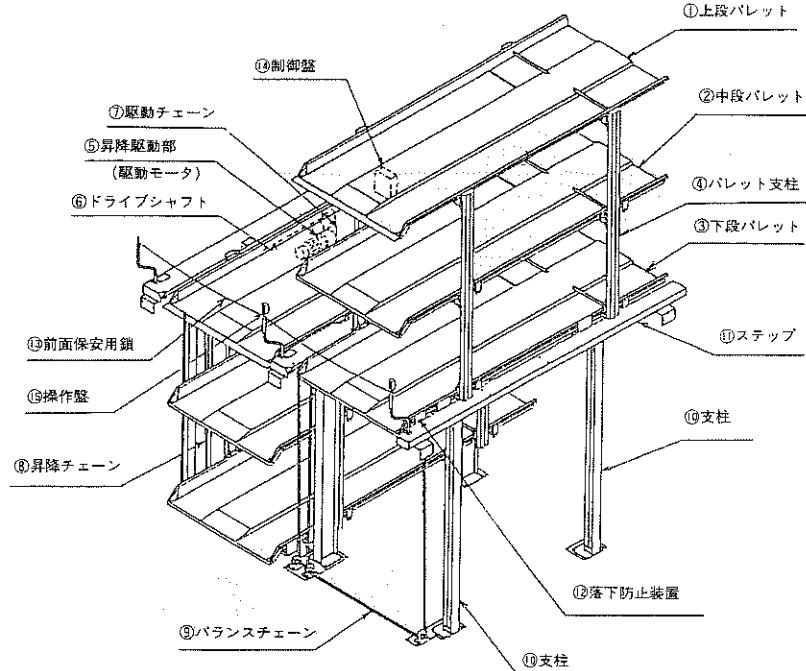
- ⑧. タイヤチェーンを装着したままの入出庫は、
パレットの傷や錆、または騒音の原因となり
ますのでおやめください。



- ⑨. 雪や落葉、ビニール袋などはスリップや装置の故障の原因となりますので、ピット内に落とさないように取り除いてください。
とりわけ積雪時は、除雪を心がけてください。

装置の構造

●下図は、6台収容分です。装置によってはこの図と異なる場合があります。



動作のあらまし

車を入庫させる上段・中段・下段の3つのパレット①, ②, ③と、各パレットを支えるパレット支柱④及びそれぞれの支柱⑩から成り立っており、パレットはチェーンにより昇降させます。

昇降駆動部⑤は後部側の支柱に取付けられており、駆動用モータによりチェーンを介してドライブシャフト⑥を回転させ、前後2本の昇降チェーン⑧を上下動することによりパレットを昇降させます。

また、パレットの前側左右に設けたバランスチェーン⑨によりパレットの水平を保持します。

なお、装置の前面には装置作動中に人及び車の進入を防ぐため、前面保安用鎖⑬を設けてありますので、入出庫のとき以外は必ず前面保安用鎖をかけてください。

装置の構造

(装置各部の名称とはたらき)

- ①. 上段パレット：車の上段収納台で、通常は地上レベルにあります。
- ②. 中段パレット：車の中段収納台で、通常は地下のピット内にあります。
- ③. 下段パレット：車の下段収納台で、通常は地下のピット内にあります。
- ④. パレット支柱：上・中・下段のパレットをつなぐ4本の柱です。
このパレット支柱で、上・中・下段のパレットをつなぎ、パレット部を一体構造とし、操作時には3つのパレットが同時に昇降します。
- ⑤. 昇降駆動部：パレットを昇降させるためのブレーキ及び減速機付モータです。(駆動モータ)
- ⑥. ドライブシャフト：駆動用モータの回転力は、駆動チェーンにてこのドライブシャフトに伝達されます。
- ⑦. 駆動チェーン：鎖車と噛み合って駆動モータの回転力をドライブシャフトに伝えるためのチェーンです。
- ⑧. 昇降チェーン：ドライブシャフトの前後に設けた鎖車に噛み合ってパレットを昇降させるチェーンです。
- ⑨. バランスチェーン：パレットの傾倒を防止し、パレットを水平に保持するチェーンです。
- ⑩. 支柱：装置全体を支持する柱で、下面是ピットの床面に固定されています。
- ⑪. ステップ：ピットとパレットの間の隙間を埋め運転者が安全に車に乗降できるための歩行板です。
- ⑫. 落下防止装置：中・下段パレットがそれぞれの上限位置にあるときに万一チェーンが切れるといった事態が生じた場合でも、パレットが落下しないための危険防止装置です。(パレットの前後・左右の4ヶ所を受け止めるように配置されています)
- ⑬. 前面保安用鎖：操作時、ピット内及び装置内への立ち入りを防止するために設けています。
- ⑭. 制御盤：一次電源を受け装置を駆動・制御するための電気機器や端子台を収納した箱です。
- ⑮. 操作盤：パレットを昇降操作させるための箱です。
(パレットの右側に設置されたブラケットに取付けられています)

このほかに、当社工事外の施工区分として装置を収納するピット、ならびに装置条件によって決まるピット内の排水ポンプや装置まわりの防護柵等で全体が構成されます。

装置の標準仕様

形 式	M	ML	ML1	L	LL
建設大臣認定番号	1178				
パーキング認定番号	PA0693				
対 象	最大車両長さ	4700 mm	4900 mm	5050 mm	5300 mm
車	最大車両幅	1800 mm	1850 mm	1950 mm	2050 mm
種	最大車両高さ	1550 mm			
	最大車両重量	1700 kg	1800 kg	2200 kg	
電 源	1次電源: 3相, AC 200/220V, 50/60 Hz 5.5 KVA/基 8.5 KVA/基				
操作方 式	押ボタンスイッチ方式				
乗 入 方 式	後 進 入 庫				
昇 降 行 程	中 段	1650 mm	1675 mm		
	下 段	3300 mm	3350 mm		
塗 装 色	マンセル 2.5Y 6/2 日本塗料工業会 色No. 6-311				

※ 特殊仕様の場合には、別紙の「取扱説明書」も併せてご利用ください。

操作の方法

ナブコパーク 3PF

操作方法

お使いになるこの装置の操作方法は、次の操作手順に従ってください。

次に述べることは、基本的な操作と注意事項です。

※ 特殊仕様の場合には、別紙の「取扱説明書」も併せてご利用ください。

操作前の確認事項

必ず次のことをご確認ください。

★装置の中や、すぐそばに人やペットがいる時は、操作しないでください。
装置内および車の中に、人やペットがいないことを確認のうえで操作してください。

操作時の注意事項

①. 上段パレットの入出庫は、定位置状態（上段パレットが地上にある）のまま装置の操作なしでできます。

（このため、中・下段パレットを使った後は必ずパレットを下まで降ろしてください！）

②. 操作は必ず、前面保安用鎖を掛けた状態で！

③. 短時間での押ボタンスイッチの入り切りは厳禁です。

④. 操作中もし何かの異常や緊急事態が起きたら、押ボタンスイッチから手を離してください。装置は直ちに止まります。

その後、管理者または連絡先へ連絡して、指示があるまで絶対に操作しないでください。

⑤. 車の出し入れが終わったら、必ずパレットを下まで降ろしてください。

⑥. 操作が終わったら、必ず操作盤から操作キーを抜いてください。

操作の方法

標準機能

(1). 隣接インターロック機能

パレットが下限位置にない場合、その両隣に隣接する装置は、パレットが作動しないようにし、通路幅を確保します。
また、隣接インターロック解除機能により、解除することができます。通常は隣接インターロックを作動させておいてください。

(2). 隣接インターロック解除機能

隣接インターロック解除スイッチを解除位置にすることにより、豪雨によるピット浸水の恐れがある場合等、緊急時にはそれぞれのパレットを上限位置に上昇させることができます。

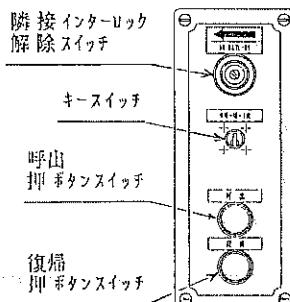
(3). キーロック機能

パレットが完全に下限位置にならないと、操作スイッチのキーが抜けません。
隣接インターロック解除時、パレットの位置にかかわらずキーは切位置で常時抜くことができます。

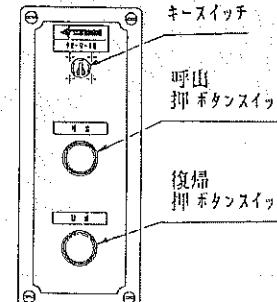
操作盤

隣接インターロック解除スイッチ付き操作盤（以下操作盤1という）と隣接インターロック解除スイッチ無し操作盤（以下操作盤2という）があります。

標準の装置では、1装置に1個の操作盤1と（収容台数／3-1）個の操作盤2で構成されます。但し、1基（3台収容）のみの場合には、操作盤2が1個となります。



操作盤1



操作盤2

操作の方法

操作手順

1. 上段パレットへ入出庫を行う場合

操作盤の操作は不要です。前面保安用鎖を外して、入出庫してください。
また、入出庫完了後は、必ず前面保安用鎖を掛けてください。

2. 中段（下段）パレットへ入出庫を行う場合

前面保安用鎖が掛かっていることを確認した後、駐車装置内や、すぐ近くに入や荷物・障害がないことを確認してください。

順序	操作手順	作動状態
1	操作盤のキースイッチに操作キーを差し込んで中段（下段）に、切り替えてください。	
2	呼出押ボタンスイッチを押し続けてください。	(1). パレットが上昇します。 (2). パレットが上段停止位置に停止します。
3	前面保安用鎖を外してください。	
4	車を入出庫します。	
5	前面保安用鎖を掛けてください。	
6	復帰押ボタンスイッチを押し続けてください。	(1). パレットが下降します。 (2). パレットが中段（下段）停止位置に停止します。
7	パレットが中段（下段）停止位置に停止したことを確認の上、操作キーを抜いてください。	

操作の方法

操作手順

3. 非常停止させる場合

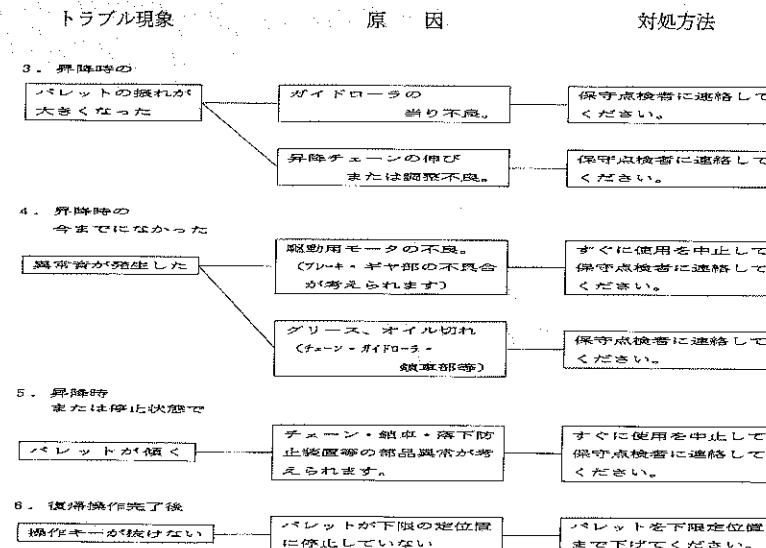
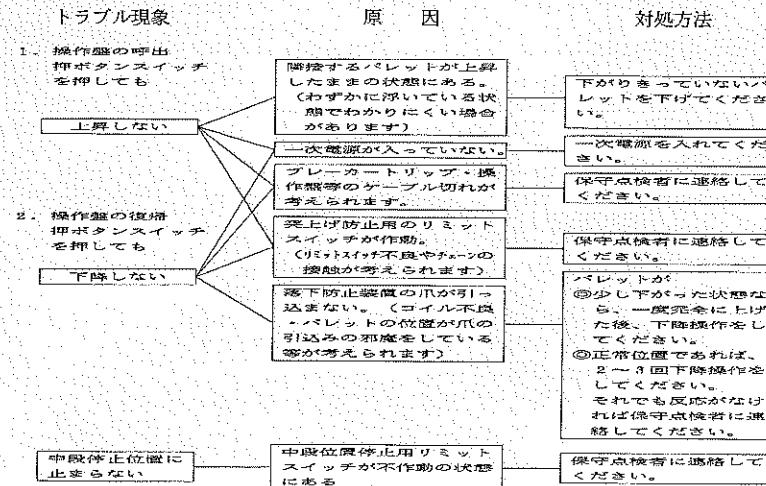
順序	操作手順	作動状態
	押ボタンスイッチより手を離してください。	パレットはその場で停止します。

4. 非常停止後、再び装置を作動させる場合

装置を停止させた場合は、その後管理者または連絡先に連絡し、指示があるまで絶対に作動させないでください。

トラブル時の対応

この装置を操作する時に発生することが考えられる不具合とその対策として、ここでは標準仕様の装置における主要なトラブルの現象とその原因・その時の対処方法を示します。



保守点検について

《保守点検》

この装置は日常点検が必要です。以下の点検を行ってご使用ください。

★車の乗入れ部の清掃 ————— とりわけ落葉時期や暴風雨の後などビットにゴミが進入しないように取り除いてください。
(ただし、ビット内への立入りは禁止です)

★積雪時の除雪 ————— 装置に過剰な重みがかかったり、スリップ等動作不良の原因になります。

★どんな時でも「非常停止」が作動しますか。

★パレット（車の収納台）の上に、車以外のものが置かれていませんか。

★パレットがスムーズに上昇・下降または横行動作していますか。

★装置作動中いままでと違った、異常音がでていませんか。

★キャブタイヤケーブル（電線）が、装置の稼働部に接触していませんか。

★装置の部分的な錆・傷や摩耗箇所の塗装の補修をしてください。

☆各部の締結（ボルト・ナット）材に、弛みはありませんか。

☆電装品の摩耗や損傷の状態を確認してください。

☆各リミットスイッチや操作盤面のスイッチは確実に作動していますか。

☆チェーンの弛みや異常音はありませんか。

☆チェーンおよび回転部分への給油をしてください。

☆落下防止装置は確実に作動していますか。

「★」印は、ご自分でできる範囲の点検項目ですので、実施していただくようお願いします。

「☆」印は、危険が伴いますので専門の技術者にお任せください。

《保守契約のお勧め》

安全に、そしていつまでも快適にご使用いただくために最も確実な方法として、必ず保守契約をして頂くようお薦めしています。

保守契約の概要は次の通りです。

- (1). 後述するナブコ各販売会社と、保守契約をして頂きます。
- (2). 定期的な装置の保守点検等を、各販売会社またはその指定会社が責任をもって行います。
- (3). 保守点検の項目は契約の内容により異なります。

ただし、◎装置が設置されている地域や環境の特殊性による特別なもの

◎その他天災や災害等に起因する保守点検
については、契約に含まず別途有償となります。

これらの保守契約ならびに保守点検項目等の詳細については、各販売会社窓口にお問い合わせください。

品質保証

《品質保証》

納入に際して、別途提示致しました通り、この装置にかかる品質保証は次の通りとなります。

《保証期間》

納入した装置の保証期間は、竣工お引き渡し後1ヶ年です。

また装置をお引き渡しした後、ご注文主の都合により放置あるいは無点検の状態であれば、未使用であっても有償で再点検を行うことを条件とさせて頂きます。

《お引き渡し後のサービス点検》

装置はお引き渡し後、3ヶ月間の適当な時期に一度、サービス点検を無償で実施します。（この場合の点検項目等は管理者側と打合せのうえ行います。）

《保証範囲》

保証期間中に納入者側の責任によって故障や不具合を生じた場合は、その機器の故障部分の交換または修理を納入者側の責任で行います。

ただし、次の項目に該当するような装置の管理に係わる故障等は、この保証の対象範囲から除外させて頂きます。

- (1). 利用者側の判断により、不具合のまま使用され、これに起因する故障等の場合。
- (2). 利用者側の不適な使用や取扱いによる場合。
- (3). (第三者の不当行為による破損等も含みます。)
故障の原因が納入品以外の事由による場合。
- (4). 当社が行った以外の改造や修理、または当社が了承し確認していない改造や修理
- (5). に起因する場合。
- その他天災や災害に起因し、納入者側の責任でない場合。
- (6). 消耗や劣化に起因する部品費または交換費用（ゴム・プラスチック・シール剤および一部の電装品・塗装など）

なお、ここでいう保証とは納入品の保証を意味するもので、納入品の故障によって誘発される損害は、ご容赦願います。

また、ここでいう納入者とは、ナブコ各販売会社と(株)ナブコを指しますが、窓口業務はナブコ各販売会社が担当します。